

平成21年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

1目 農業総務費 <地方機関計上予算>

西部総合事務所県民局 (0859-31-9768)

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 西部発食のみやこ鳥 取県 ここに行けば 大山・中海・境港の ものが食べられるプ ロジェクト推進事業	1,200	0	1,200				1,200	
トータルコスト	5,343千円 (前年度 0千円)							
従事する職員数	正職員： 0.5人							
主な業務内容	補助金交付事務、事業主体への助言、関係機関との協議・連絡調整等							

事業内容の説明

1 事業の概要

県西部の豊かな自然に恵まれた美味しい食材を活用し、「地元食材を美味しく食べさせてくれるお店」を観光客等へ体系的に紹介できる環境を整備することで、県西部の食の豊かさを県内外へPRする。

<背景>

- 県西部は、大山、皆生温泉、境港（水木しげるロード）等、山陰の観光拠点となっている。
- そのような中で、「NPO法人大山中海観光推進機構」が、国補事業を活用して今年秋より「大山パークウェイ構想」へ着手したり、「山陰文化観光圏協議会」が、観光庁の認定を受け、中海・宍道湖圏域周辺を長期滞在型の観光地に進化させようと動き始めたばかりである。
- 「食」は観光の一つの柱であり、特に長期滞在客を確保するためには、地元食材を美味しく食べさせてくれるお店を体系的に紹介できる体制が必要である。
- しかしながら、県西部には自然に囲まれた食材が豊富にあるにもかかわらず、地元食材を売りにしている店はあまりなく、地元食材を使用しているPRしていないことが多い。
- そこで、上記観光事業と連動させながら、他地域に先駆けて、地元食材を美味しく食べさせてくれるお店を増加させ、観光客、消費者へ対してPRしていくために事業推進を行う。

2 事業内容

観光振興と連動させながら、観光の目玉である食に焦点を当て、県西部を代表する食材を利用した店の認定事業に取り組む団体等に対して助成する。

事業内容	事業主体	事業費	予算額	補助率
県西部を代表する食材を利用した店の認定事業 (1)認定委員会等の設置 (2)新メニューの開発 (3)認定店のPR 等	左記認定事業に 取り組む団体等	@1,000千円 ×2団体	@500千円 ×2団体	1/2